



# 池谷薫

## ドキュメンタリー塾

～ 映画監督から学ぶ映像制作 ～

デジタル技術の進歩により、誰もが映画監督になれる時代になりました。でも、**人の心を動かす作品をつくる**ことは容易なことではありません。カメラを向けても何も撮れない。そんな経験を、あなたはお持ちではないですか？

この春、映画監督・池谷薫による「ドキュメンタリー塾」が開講します。池谷監督は「**人間を撮る**」を信条にテレビや映画で数々の名作を世に送り出してきました。代表作の「**蟻の兵隊**」は中国残留日本兵・奥村和一の執念を描き、**ドキュメンタリーとしては異例のロングランヒット**を記録しています。

個人を徹底的に見つめる手法で時代や国家に潜む狂気を映し出してきた池谷監督……。

**撮りたい人や事象が目の前に現れたという方。撮り始めたものの対象とうまく関係が築けないという方。素材が増えるばかりでまとめきれないという方……。**池谷監督の熱い指導で、**あなたにしかできない作品づくり**を目指してみませんか？**大切なのは「どう撮るか」より「何を撮るか」**です。

もしかしたら、大傑作が誕生するかもしれませんよ！

## ■ 概要 ■

講師：池谷薫氏（映画監督 / ドキュメンタリー作家）  
期間：2017年4月22日（土）～ 9月末 全12回  
（月2回日曜日予定）

時間：14:00～18:00

会場：都立大学近辺 or 渋谷近辺

人数：最大7名（応募多数の場合は先着順）

受講料：一般 65,000円（税込）（一括前払い。難しい方は応相談）

事前説明会を行います。その際、池谷監督作品「蟻の兵隊」を鑑賞し、制作裏話などをお聞きします。  
お気軽にご参加下さい。

説明会日時：3月18日（土）（約3時間）14～17時

説明会場所：JR・東京メトロ新橋駅から徒歩3分（会場は予約された方に別途お知らせします）

受講対象：ご自身で「ドキュメンタリー映像作品」を制作したい方（未経験者可、学生可）

※ ジャンルは「ドキュメンタリー」となります。

※ 制作用のPC、編集ソフトは必要に応じ、各自ご準備ください。

※ 時間、場所は都合により変更になる場合がありますので、フレキシブルに対応できる方。

※ 説明会は要予約。予約の方に、会場をお知らせします。

## ■ 池谷薫 プロフィール ■

同志社大学卒業後、12本のNHKスペシャルを含む数多くのテレビ・ドキュメンタリーを演出する。

初の劇場公開作品となった『延安の娘』（2002年）は文化大革命に翻弄された父娘の再会を描き、カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞ほか多数受賞。2作目の『蟻の兵隊』（2006年）は中国残留日本兵の悲劇を描き、記録的なロングランヒットとなる。3作目の『先祖になる』（2012年）は東日本大震災で息子を失った木こりの老人が家を再建するまでを追い、ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞特別賞、香港国際映画祭グランプリ、文化庁映画賞大賞を受賞。現在、非暴力の闘いに込められたチベット人の心を描いた『ルンタ』（2015年）が公開中。



2008年から2013年まで立教大学現代心理学部映像身体学科の特任教授を務め、卒業制作としてプロデュースした『ちづる』（2011年・赤崎正和監督）は全国規模の劇場公開を果たす。著書に『蟻の兵隊 日本兵2600人 山西省残留の真相』（2007年／新潮社）、『人間を撮る ドキュメンタリーがうまれる瞬間』（2008年／平凡社、日本エッセイスト・クラブ賞）ほか

最新作「ルンタ」オフィシャルサイト：<http://lung-ta.net/index.html>



## ■ 問い合わせ・申込先 ■

テラコヤフィルム (tera58film)

Email : [film@tera58.net](mailto:film@tera58.net)